

## インドネシアの選挙事情について

2014年はインドネシアにとって今後の方向性が決まる重要な一年になります。まずは4月の「総選挙（国会議員選挙）」、そして7月の「大統領選挙」、この2つの選挙が今後のインドネシアの政治や経済に大きな影響を与える事は間違いありません。そこで今回は、この2つの選挙事情と選挙方法についてお知らせします。

### 【総選挙・大統領選挙の選挙事情】

今回の総選挙はスハルト政権が退陣してから4回目、大統領選挙は直接投票になってから3回目となります。なぜ今回の選挙が注目されているのかと言うと、インドネシアでは「大統領の任期」の上限を2期10年と定めているため、現大統領のエドヨノ氏が次回の大統領選挙に立候補することは（3期目となるため）できません。このため、7月の大統領選挙で必ず新大統領が誕生することとなり、その大統領次第で今後5年のインドネシアの方向性が決まることになるからです。



左：2014年総選挙ロゴ



右：総選挙委員会（KPU）ロゴ

大統領選挙の前哨戦ともなるのが総選挙です。総選挙は日本の国会議員選挙のような位置付けで、各政党が定数560の議席を奪い合う戦いになりますが、もう一つ重要な意味合いがあります。この総選挙で獲得した議席数が全議席の20%以上、または得票率25%以上を確保した政党からしか大統領候補を立てることができません。各党とも1議席でも多く確保したいことから、日本同様、インドネシアでも知名度のあるタレントを候補者に立てる傾向が強まっており、2009年の総選挙では18名のタレント候補者が当選しています。次回の総選挙では、ほぼ全ての政党がタレント候補者を立てるという話もあり、その数は60名を超えると予想されています。やはり知名度や人気頼りと言ったところでしょうか。

大統領選挙では上述のとおり総選挙にて一定の議席を獲得した政党から候補者を選出します。総選挙で全議席の20%以上を確保し大統領候補者を出馬させるため、総選挙の開票速報の段階から連立等の手続きに奔走することもあります。インドネシアの大統領選挙は、大統領候補と副大統領候補がペアとなって出馬します。ペアは異なる政党の政治家同士でも、副大統領候補が無所属であっても可能です。最終的に大統領に当選するには全国民の直接投票で過半数以上の票を獲得しなければならず、過半数を獲得したペアがいなければ得票数上位2組での決選投票が行われます。今回の大統領選挙も同じシステムであり、中には「出馬するのであれば〇〇と」と既に決めている政党もあるようです。

大統領選挙は、まずは総選挙次第ですが、既に国民から多くの支持を受けている人物がいます。立候補を正式に表明していないにも関わらず、世論調査では圧倒的な支持を得ているのが現ジャカルタ首都特別州知事のジョコ・ウィドド氏（愛称：ジョコウィ）です。12月に行われた候補者を明記しない調査で支持率35%を獲得し、2位以下に3倍以上の大差をつけている状況です。他党もこの事実には危惧し「ジョコウィ対策」として先の洪水問題やジャカルタ特別州知事としての責務を問題提起している状況です。

**【選挙方法】**

選挙権は、インドネシア国籍を持つ満 17 歳以上の全ての国民に与えられます。これは今回の総選挙・大統領選挙以外の首長選挙や地方議員選挙も全て同じです。投票方法は、日本のように投票用紙に名前を書く形式ではありません。地域によって若干の違いはありますが、一般的には全候補者の写真と名前、政党が印刷されている用紙が選挙会場にあり、投票したい人の項に穴をあけ、投票箱へ投入します。その後、投票した証拠として小指の先をインクに浸し二重投票を防ぐ対策を行います。



二重投票防止のインク

総選挙・大統領選挙はインドネシアでも注目度は高く、前回（2009年）の選挙投票率は総選挙で 70.96%、大統領選挙で 72.6%でした。1999年に現在の選挙スタイルになって以降、投票率は下降傾向にありながらも 7割台と国民全体の選挙に対する意識は高いことがわかります。反面、人口の 7割が投票を行うのに加え、日本とは違い選挙システムが未整備なため、前回の総選挙の際には、投票から開票確定まで約 1ヶ月かかってしまいました。今回の選挙も開票まで同じくらいの時間がかかるであろうと予想されています。

2014年総選挙・大統領選挙スケジュール	
4月5日	選挙活動終了
4月9日	総選挙
5月中旬	国会議員選挙結果確定
5月下旬	大統領選挙候補者届出
7月9日	大統領選挙
10月20日	大統領就任

インドネシアへの投資を検討されている企業や、事業展開している企業にとっても今回の選挙が重要なものになることは間違いありません。

以上

<これまでの岡山県インドネシアビジネスサポートデスクレポートは[こちら](#)から>

**★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク（PT. J C内）概要★**

所在地：WISMA NUSANTARA BUILDING 24<sup>th</sup> Floor

Jl. M. H Thamrin Kav 59 Jakarta Pusat Indonesia 10350

デスク担当者：PT.JC 武井 和宏（たけい かずひろ）

対象エリア：インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています（岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託）。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」利用の手引きをご覧のうえ、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)（電話 086-226-7365）までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。

参考資料：2014 年 1 月末時点で総選挙に参加できる 12 政党

	政党名	シンボル		2009 年獲得議席数
①	国民民主党 (ナステム)		大手テレビ局メトロ TV のオーナーが 2011 年に設立。	政党設立前
②	民族覚醒党 (PKB)		最大のイスラム団体ナフダトゥル・ウラマー (NU) を支持母体とする政党。	27 議席
③	福祉正義党 (PKS)		1998 年に結成された正義党が前身だが、2004 年総選挙前に福祉正義党として新たに結党。2010 年 7 月には「開かれた政党」となることを宣言し、現実主義を強めている。	57 議席
④	闘争民主党 (PDIP)		スハルト時代の野党民主党が前身。メガワティ前大統領を中心とした分派によって結党。	95 議席
⑤	ゴルカル党		1964 年にインドネシア共産党に対抗して設立。一定の勢力と影響力を維持。	107 議席
⑥	グリンドラ党		2007 年結成の農民漁民党が前身。2014 年総選挙に向けて、前選挙で議席を得られなかった小政党を吸収して勢力拡大している。	26 議席
⑦	民主主義者党 (PD)		スシロ・バンバン・ユドヨノを大統領に擁立すべく設立された政党。ユドヨノ大統領の人気により 2009 年には第 1 党に成長したが地方の人材が不足している。	150 議席
⑧	国民信託党 (PAN)		イスラム団体ムハマディヤの元会長で 1998 年の民主化運動の指導者中心に設立された政党。都市部に支持者が多く、現党首は経済担当調整大臣に就任。	43 議席
⑨	開発統一党 (PPP)		イスラム諸政党を統合して結党。	37 議席
⑩	国民純心党 (ハヌラ)		2004 年の大統領選挙にゴルカル党から立候補し落選したウィラントが退役軍人らと共に 2006 年 12 月に設立した政党。	18 議席
⑪	月星党 (PBB)		旧マシュミ党の継承者を自認するイスラム政党。	議席なし
⑫	正義統一党 (PKPI)		国会に議席を持っていた公正統一党 (PKP) が 2002 年に改称。退役軍人などが支持基盤。	議席なし